慶應義塾大学大学院　経営管理研究科（MBA）　概要

時間：120 分
筆記用具：ボールペン、修正テープ（修正液）
内容：

出題される問題は、長文を読んだ上で、設問に解答する形式である。長文は、経営学に関する書籍からの引用が多い。出題内容としては、企業変革、従業員のモチベーション、技術革新と企業経営、ダイバーシティ、企業再生、人材マネジメント（特定社員の特別扱い）などに関する問題が出題されている。経営学に関係のない時事問題が出題される場合もある。例えば、年収の壁に関する問題である。その他の注意点は、日本語の長文ではなく、英語の長文が出題される場合があることである。2026 年度の秋入試では、日本語ではなく英語の文章を読む形式であった。よって、同研究科を受験する場合は、日本語の読解力だけでなく、英語の読解力を高めておく必要がある。

また、数学の基本的な問題が毎年出題されている。具体的には、高校数学の数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bからの出題となっている。分野は、以下の通りである。

数Ⅰ：データ分析
数Ⅱ：図形と方程式
数学A：整数の性質、場合の数と確率
数学B：確率分布と統計的な推測

上記の分野を勉強するための基本書として、「青チャート」の相性で高校生に人気の以下の２冊がおススメである。

・チャート研究所（2026）「改訂版 チャート式 基礎からの 数学Ⅰ＋A」数研出版
・チャート研究所（2022）「新課程 チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B」数研出版